Ikiiki Maebashi Jin
いきいき まえばしー人

国際交流の輪を広げたい

国際交流員
ラウラ・ディ・クローチェさん・29歳
住吉町一丁目

8月から、本市の国際交流員として勤務するイタリア・ミラノ出身のラウラさん。日本語はもちろん、英語や中国語にも精通し、本市と諸外国との橋渡し役として通訳や翻訳、外国人相談窓口での対応など幅広い業務を担う。

「日本の音楽が好きで日本語を勉強するうちに、実際に日本に行ってみたいという思いが強くなりました」

ミラノ大大学院を卒業後、日本に留学し、来日は今回が4度目。留学先の京都では寺社仏閣などを訪ね、日本文化への理解を深めた。

「坂本龍馬など、幕末の人物が好きです。京都では実際に龍馬ゆかりの地に足を運び、より深く歴史を理解することができました」

留学後、イタリアに帰国したが、自らの留学体験を生かした仕事をしたいと思い、国際交流員を希望し、本市に採用されることとなった。

「旅行や写真が趣味なので、市内外のさまざまな場所へ出掛け、体験をブログなどで紹介していきたい」

今後は、音楽などをとおした国際交流イベントを企画したいとも話す。

「前橋での出会いを大切にしたい。気軽に声を掛けてもらえたら嬉しいです」

ラウラさんがつなぐ国際交流の輪は前橋から世界へ広がるだろう。

赤城の恵ブランド

前橋市松100年記念太鼓新

vol. 14

前橋市推奨 赤城の恵ブランド認証品

ぶどう

空っ風の吹く赤城山麓の前橋で、生産者が妥協を許さず、手間を惜しまず作った「赤城の恵ブランド」の認証品。今回は「ぶどう」を紹介します。

■地域の特産品作り

認証受証者の昭和造園土木は、宮城地区で新たな地域づくりを進めたいという気持ちから、ぶどう作りをすることを6年前に決意。日照時間が長く、市街地より標高の高い気候を生かし、約4・4㌶の果樹園のうち約2・5㌶で、ぶどうを栽培しています。

■多品種のぶどうを栽培

果樹園では、43種のぶどうを栽培。それぞれが個性あふれるおいしさです。9月中旬までにかけては、皮の色が赤系のゴルビーやシナノスマイル、緑系のシャインマスカットや翠峰、黒系の巨峰やピオーネなどが主に店頭に出回る予定です。

■健康・栄養

ぶどうの主成分は、ブドウ糖と果糖。これらは体内ですばやくエネルギー源になり、疲労回復に効果を発揮します。皮の部分はアントシアニンが豊富で、老化防止や視力回復、肝機能向上が期待できます。

■観光農園「あかぎおろし」

同社が運営する観光農園「あかぎおろし」はぐんまフラワーパーク西の柏倉町にあり、豊富な品種のぶどう狩りが10月中旬まで楽しめます。また、直売所も併設され、試食も可能。ぶどうの詰め合わせは、県内外へ発送できます。

■生産者からのメッセージ

高級志向の人にも応えられるよう品質を厳選するとともに、多くの人にぶどう狩りを楽しんでもらえるよう、これからも多品種栽培に取り組みます。

問い合わせは
あかぎおろし ☎027―212―8039

クローズアップ CLOSE UP

多彩な催しで楽しむ

8月9日、大渡橋周辺で前橋花火大会を開催。約1万5,000発の打ち上げ花火が夏の夜空を彩りました。ことしは、初めての試みとして、タレントや地元有志によるステージイベントを開催。イベントや出店を楽しむ人で打ち上げ前からにぎわっていました。

柔道通じ世界と交流

8月10日にＡＬＳＯＫぐんまアリーナで、群馬県柔道連盟・ブダペスト柔道連盟国際交流大会が行われました。ハンガリーチャンピオンなどの選手と県内の選手が柔道をとおして交流。試合の前後にはプレゼントを交換するなどして親睦を深めました。

新聞紙でカラフルな彫刻作品

アーツ前橋で8月9日、新聞紙とガムテープで立体作品を作るワークショップ「彫刻1,000体ツクルンジャー」を開催。本市出身のアーティスト・関口光太郎さんが、平成23年度から、多くの人たちと作り上げてきた作品は、ついに1,000体の目標を達成しました。